

- 緑のカーテンを作ろう……2面
- 悪質商法にご注意を……3面
- そうだ、市川で花を見よう…4-5面
- 一人じゃないよ
ママ・パパを支える強い味方…8-9面
- 映画でもユニークな姿が話題に
この動物なあに?……10面
- 江戸川クリーン作戦……10面



花薫る笑顔あふれるまちへ

―後世に引き継がれる花のまち―

市民の花をご存じでしょうか。昭和50年6月に募集し同年8月に「バラ」が第一位となり決定しました。当時から市川のまちが花で彩られ、今も受け継がれています。花が咲き自然に笑顔になれるまちになることを願います。

特集「そうだ、市川で花を見よう」は4-5面をご覧ください

市民のみなさまへ

楽しくまちをつくる

おおくぼひろし
市長 大久保 博



ガーデニングを楽しむ皆様に囲まれる大久保市長

今年の冬は厳しい寒さが続き、春を待ち遠しく思っております。春の花は冬の厳しい寒さを経験して初めて美しく咲くと言われております。春になると美しい花を咲かせる「市民の花」バラが5月に見ごろを迎えます。この時期は好天に恵まれる日が多く、市内ではたくさんの方の行事やイベントが開催されます。公共の花壇の維持管理を行政とともに行っていただく「ガーデニングボランティア」の皆様が、この春から菅野公民館前歩道花壇と行徳駅前広場花壇の2カ所で活動を開始しました。当初の予想を超えてたくさんの方の登録をいただき、今も口伝えで参加される方が増えており、お子さんからご年配の方まで、世代や性別を超えた沢山の方々が、笑顔と会話を交わしながら汗を流してくれています。

地域のボランティア活動にこれだけの人が集まる理由の一つとして、みんなで作業する楽しさがあるのではないのでしょうか。そして、自分の活動が社会の役に立っているという喜びが人を引きつけるのだと思います。また、昨年度から始まり今年春3期目がスタートした「協働花づくり」事業は、市民の皆様から花を育てていただき、その一部を公共に還元していただく取り組みですが、こちらも回を重ねることに参加希望者が増え、現在は、個人の参加者が100名以上、施設は40箇所を越えるなど、市内全体に花づくりの輪が広がっています。出会いと交流の場があれば、人と人はつながっていく、それが地域と社会をつくる原動力となります。市民の皆様が笑顔で楽しみながら行う活動を点から線、そして面に広げていくことがまちづくりの大きな力となります。そのため、仕組みづくりや活動の場を提供するのは行政の役割と考えております。一つの笑顔が、誰かの笑顔を誘います。沢山の笑顔が花咲くまちへ。風薫る5月、まちに出て新たな出会いを探してみませんか。